

# フラメンコ、カスタネット、詩の夕べ

2026

1/13

TUE

18:10 – 19:40

フラメンコはスペインの伝統舞踊として有名ですが、踊り単独で成立するものではなく、歌や、ギター、カスタネットといった楽器、そしてかつて「ジプシー」と呼ばれた放浪の民族の詩と密接なつながりをもっています。このたび、フラメンコの踊り手として長年活動されてきた荻山幸子氏を迎える、ギタリストの稻津清一氏、歌の永瀬三貴生氏とともに、成城大学の一角に異国風を吹かせたいと思います。

## ワークショップ プログラム

- ◆「セビジャーナス(セビリアの民族舞踊)」1番の振り付けとカスタネット体験
- ◆ロルカの「ジプシー歌集」から朗読+実際にギターと歌に合わせて即興的に踊る



荻山 幸子 Ogiyama Sachiko

5歳よりクラシックバレエの世界に入る。以後、韓国舞踊、日本舞踊、アルゼンチンタンゴの研鑽を積む一方、85年よりフラメンコ舞踊を学び始める。小島章司、わりさや憂羅、小林伴子に師事。来日中のラウール夫妻に見出され、渡西。クラシックバレエをスペイン国立バレエ団講師のアリシア・デ・ラ・コルテ女史に、クラシコ・エスパニョールをバシータ・トマスとホアキン・ビジャ夫妻に、フラメンコ舞踊をラウール氏、及びシロー、マノレーテ、パコ・ロメロ氏に師事。帰国後は、独自の創作舞踊公演を行っている。武蔵野美術大学などで非常勤講師。比較舞踊学会員(2023年比較舞踊学会理事)・日本スポーツ社会学会員

稻津 清一 Inazu Seiichi



染谷ひろし氏に師事、フラメンコギターの他、クラシック、ボサ、ポピュラー、作曲法等学ぶ。1991~92年渡西、舞踊伴奏修行する。各フラメンコ公演や芝居、TVドラマにも出演。東新宿フラメンコスタジオアリアーテにてギター・リズム講座開講中。

永瀬 三貴生 Nagagata Mikio



数々のライブやレコーディングなどの音楽活動を行なう中、フラメンコに出会い、傾倒する。2003年よりカンタオールとしてタブラオ、劇場等で本格的に活動。2007年日本フラメンコ協会第16回新人公演奨励賞受賞。

企画・進行：山下 純照（文芸学部芸術学科教授）

## 会場

成城大学  
3号館1階 学生ホール  
(小田急線成城学園前駅  
中央改札北口徒歩4分)

アクセスご案内 ▼



## 参加申込

1月12日(月)までにイベントページの事前申込フォームより イベントページ ▼  
お申込みください。

※本ワークショップは「芸術学・美術史実習 b」の一環として実施されます。

※参加費無料・先着順（定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます）

※未就学児の入場はご遠慮ください。

